

ヒンドゥスターニー音楽におけるペルシャ音楽の影響について

平成 24 年入学
派遣先国：インド
井上 春緒

キーワード：ヒンドゥスターニー音楽、ペルシャ、サンギート・リサーチ・アカデミー

対象とする問題の概要

本研究は北インドの古典音楽であるヒンドゥスターニー音楽における、ペルシャ音楽の影響について明らかにするものである。周知のとおり北インドは 13 世紀からイスラーム王朝の支配下に置かれたことで、文化的にもペルシャの影響を受けてきた。そのため現在のヒンドゥスターニー音楽はインド在来の音楽文化とペルシャ音楽文化の融合によって生まれたものだと考えることができる。しかし、これまでの研究においてはペルシャ音楽がどのような形でヒンドゥスターニー音楽の要素として現存しているのかについて明らかにした研究はない。

以上のことから本研究ではこれまで漠然と認識されてきたヒンドゥスターニー音楽におけるペルシャ音楽の影響について文献と実践を通して明らかにする。

研究目的

本研の目的はヒンドゥスターニー音楽の中世から近代にかけての変容過程を明らかにすることである。これはより大きな視座に立つと、二つの異なる文化が融合する場合に、その両者間にどのような交渉の過程が見られるかを明らかにするような文化史研究とも同じ目的を共有する。報告者がこれまで取り組んできた 13 世紀からインドで書かれたペルシャ語音楽書についての文献研究はまさにそのような視点からヒンドゥスターニー音楽を分析する試みであった。しかし、一方で報告者自身がヒンドゥスターニー音楽の演奏者であるということから、音楽そのものを重要な研究対象と位置づけている。このことから今回のフィールドワークはまさに生の資料を収集するための重要な手段であった。

フィールドワークから得られた知見について

今回のフィールドワークは東インドの都市コルカタにある、サンギート・リサーチ・アカデミー（以下、SRA）という学校に 2014 年 8 月 13 日から同年 9 月 17 日の約 1 ヶ月間滞在して行った。調査内容として以下の 3 点を目的としていた。1. SRA のグル（教師）から直接レッスンを受け、ヒンドゥスターニー音楽の理解を深める。2. 複数のグルにインタビューを行い、かれらがペルシャ音楽の影響についてどのように理解しているかを確認する。3. SRA に所蔵されている文献資料や音源資料から、過去のヒンドゥスターニー音楽におけるペルシャ音楽の影響について調査する。

今回の調査では、アーカイブが整備されていない状態であり、文献資料や音源資料を十分に調査することはできなかった。しかし、報告者が専門としているタブラーという打楽器を習う事とは別に、ブッダデーヴ・ダスグプタ氏からサロードという弦楽器、ラージェスワラ・ムカジー氏からは声楽を習うことができた。今までターラというリズム理論しか習ってこなかった報告者にとって、初めて旋律の理論であるラーガを習えたことは新鮮で、とても刺激的な体験であった。

また、ラージェスワラ・ムカジー氏と、107 歳になるムスリム声楽家アブドゥル・ラシッド・カーン氏にインタビューを行うことができた。彼らからはヒンドゥスターニー音楽家がペルシャ音楽に対してどのように理解しているのかを、意識のレベルから具体的な音楽用語について質問することができた。彼ら自身がペルシャ音楽について知り尽くしているわけではないため、ペルシャ語音楽書に書かれた内容について実際に彼らが知っていることはごく限られたものであった。しかし、数少ないながらもペルシャ起源のテクニックをつかったカヤール（インドの声楽様式）や、ペルシャ語の歌詩の歌などを実際に歌ってもらうことで、ペルシャ音楽の影響を具体的な例としてみることができた。

今後の展開・反省点

今回の調査は現代のヒンドゥスターニー音楽にペルシャ音楽の影響が残っていることを音楽家からインタビューして聞き出すことを目的にしていた。その意味でいくつかの事例を収集できたことで目的はある程度は達成できたと思っている。今後は彼らが意識していないレベルにおける、ペルシャ音楽の影響という部分を見ていく必要がある。そのために求められるのは、報告者自身がペルシャ音楽の実践を体得していくことである。

今後、報告者が十数年来、学んで来たインドのリズム理論とペルシャのリズム理論を比較するために、ペルシャの打楽器であるトンバクの演奏法を習得する。そして、両者を比較することでペルシャ音楽の要素がヒンドゥスターニー音楽にどのように影響を与えてきたのかを明らかにすることを目指す。今回のフィールドワークで得られた知見を生かし、今後の研究につなげていきたいと思う。



SRA の校舎



SRA のチュータによるミニコンサートの風景



アブドゥル・ラシッド・カーン氏と報告者